

非核・いしかわ

非核五項目

- ① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

事務局／石川民医連労働組合気付
 〒920-0848 金沢市京町 28-8 Tel.076-251-0014 Fax 076-251-3930
 ゆうちょ口座 00760-0-15689 年会費 3000円(全国紙代含む)

1面	平和憲法施行71周年記念・石川県民集会 安倍改憲阻止のために 浜 矩子	6面	核兵器禁止条約の批准国 9か国に 戦争の時代から平和の時代へ 川本浩平	7面	〈独標〉ゆめと きぼうの あかるい みらい 大川陽一
4面	辺野古、高江、沖縄のいま 安次嶺浩 非核石川の会第30回総会 開催案内 木下ちがや講演会 開催案内		三団体山菜交流会を開催 川本浩平 教員の長時間労働は政府の「働き方改革」 で解決するの? 庭田智恵子	8面	石川の地域点描 シリーズ 中西 優 絵手紙コーナー 坂本朋子 非核・平和の掲示板

憲法記念日

安倍改憲NO! 市民アクション 安倍改憲阻止のために

浜 矩子



のりこ
改憲阻止を切々と語る浜矩子さん

◇講演要旨◇

同志社大学大学院
ビジネス研究科教授 浜 矩子

安倍であろうがなからうが

私はアベノミクス（アホノミクス）と関わりつつ、改憲を阻止する論拠を述べてみたい。単に安倍改憲に抗するだけでなく、次なる自民政権の引き続く魂胆にも、ゆるぎないスタンスで打ち破る必要があるということ、特に強調しておきたいのです。

第一のポイント なぜ改憲阻止なのか?

これについては、そもそも日本国憲法はグローバル時代の正しい生き抜き方を明確に示しており、それを否定する必要は全くないということです。ともすれば「古い」「時代遅れ」と言っている人たちこそ、実は時代遅れなのです。憲法は新時代を生き抜くスタンスを示しているのです。あたかも日本国憲法は、二一世紀がグローバル時代になることを予見して、その時代に私たちが踏み込むことを待っていたかのごとく、その時代にはこういう姿勢でやり抜くのだということ、教えてくれています。時代遅れどころか、最も先進的なのです。

グローバル時代は、強者の論理の貫徹とか弱肉強食の世界とかいわれるのですが、しかし本質的には、**①誰も一人では生きていけない、②誰も一人で突出できない、という特徴を持つのです。**ヒト・モノ・カネが容易に国境

花鳥風月

ジョージ・オーウェルの「一九八四年」は、

「イギリス人が読んだふりをする小説」ベスト1らしい。「今の首相は独裁的で、まるでビッグ・ブラザーだ」とか「最近監視カメラだらけで、一九八四年のようだ」とか、日常会話に使いやすいせいもあるうが、なかなかのものだ▼主人公スミスの勤務先は「真理省」。仕事の内容は、記録の改ざんだ。新しい統計が出れば、生産計画を実績に合わせて修正し、目標を超過達成したことにする。戦争していたA国と講和し、B国との戦争がはじまると、A国とは長年にわたって固い絆で結ばれており、B国はずっと不倶戴天の敵だった、と書き換える▼七〇年前の小説だが、トランプが大統領になった直後、世界的に再ヒットしたらしい。しかしこの有様は、トランプのアメリカよりも、アベの日本にこそ似ていないか▼「一九八四年」は、絶望的な世界を描いた小説として知られている。しかし「読んだふり」でなく実際に読むと、独裁国家がやがて過去のものになるという希望を読み取ることもできる▼明るい未来は、待っていてもやって来ない。独裁と改ざんを過去形で語る未来をつくるため、一人ひとりが力を尽くすことが必要だ。(山)

を越えていく時代です。また三・一一による福島の一部工場の操業停止によって世界中の自動車産業が止まったことに象徴されるように、誰もが誰かを支えているのです。誰も突出できない時代というのは歴史を振り返っても未だかつてありません。パクス・ローマナ、パクス・ブリタニカ、パクス・アメリカナのように、誰かがふんぞり返ることははや不可能です。

実は、このような新時代に生きる正しい生き方の指針が三つ、既に憲法前文に記されているのです。

指針① 『諸国民との協和による成果と、…恵沢を確保し、…を決意し、…を宣言し、この憲法を確定する』がそれです。これはグローバルな世界観そのものであり、明確なメッセージです。国境を越えて『諸国民と協和』して生きていくことこそグローバル時代に相応しい精神です。憲法はこれが冒頭に出ているのです。これには本当に驚き、感激するものです。

指針② 『平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した』という平和主義の格調の高さは、まさに驚くべきもので、人間性の清らかさが表現されています。自分たちの安全や生存自分たちの運命を、自分たち以外の国

の公正さと信義に全面的に委ねていきます。強い武力による強い国家によらねば安全や生存は確保できるわけがないという考え方と正反対です。

グローバルな時代では殊の外、出会う全ての人々の公正と信義に信頼することなく生きていけるものではありません。そのことを早々と高らかに宣言している憲法の先見性に改めて驚き、感激するものです。

指針③ 『いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであって…』というのはお互い様、お蔭様の精神そのものです。この部分を誰に読ませたいかといえど、ここに「参集の皆さんにはすぐにお分かりと思います（笑）。グローバル時代にあつては自国ファーストであつてはならないのは当然です。憲法はそこに釘を刺しています。貿易には自由もさることながら、公正が重要です。フェアであることが大事なのです。現下は公正さを欠くと思われる場合、報復の論理の正当性が浮上りつつあります。このことは第一次大戦や第二次大戦の主戦論と軌を一にするものであり、互いに相手国に公正さを一方的に要求しあうことのあてまわしい結末を想起せざるを得ません。

憲法前文は相手に要求するのではなく、相手の公正さを全面的に信頼しています。これも驚くべき認識の深さであり、グローバル時代の正しい生き抜き方を示しています。

これらの先駆性を持つ日本国憲法を、現下の状況で改定すべきではありません。これらが絶対に改憲を阻止すべき理由です。

第二のポイント

どうすれば阻止できるのか？

まずは徹底した打倒アホノミクスです。やがて次にどんなおぞましい仕掛けが来ても、原点がしっかり確立されていれば対応できます。その勘どころは、持つべき疑念を常に抱き、次に挙げる問い質すべき三つのこと、これを常にしっかりと押さえることです。

問い質すべきことの第一は、『目指している場所は？』です。

チームアホノミクス（安倍政権）は我々をどこに連れて行こうとしているのかというと、最終的にそれは『二一世紀の大日本帝国』に他なりません。ここをキチンと見定めておくことです。これは本人の言葉でも明らかです。第一次安倍内閣では「戦後レジームからの脱却を目指す」ことを繰り返して述べていました。そしてその意味は、

「戦後体制の中に留まりたくない」「戦後は嫌だ」ということで、そうなるで行ける場所は一つしかありません。「戦後」が嫌だとなるとそれは「戦前」しかないではありませんか（笑）。

その戦前の世界とは大日本帝国の世界に他なりません。実際に安倍首相の発言の中にインド洋に言及することもあり、戦前の大東亜共栄圏にはインド洋は入っていませんでしたから、二一世紀の大日本帝国は、より広域の支配を画策しているといえるのではないのでしょうか。

その観点から考えると、「戦後レジームからの脱却を目指す」安倍政権の体質的な本質は、対米従属というより、日米安保を踏み台にして、米国に頭を下げなくてすむ大日本帝国を築くという野望ではないか、と思うのです。

戦後体制は日米安保体制そのものであり、それにつられて集団的自衛権の行使に固執することになるので、対米従属をあまり言いつぎると、逆に敵に塩を送ることになりかねない。私は少し危惧しています。いずれにせよ彼らの、もはや下心とはいえない上心（笑）で、目標とする世界を白状しています。

問い質すべきことの第二は、『正体は何か？』です。

妖怪アホノミクスの正体は、ずばり『愛僕主義者』だということ。本当に愛しているのはボクちゃん。先の総選挙は「僕」難突破総選挙。愛「僕」者は増えているので、ご用心(笑)。

グローバル時代は、誰も一人では生きていけず不安をもたらす側面もあり、下手をすれば愛僕主義者を輩出しがちです。因みに米トランプ親父は「メキシコとの間に巨大な壁を作る」と豪語していましたが、実はメキシコからセメントを輸入しなければ不可能なのです(笑)。相手の公正と信義に信頼する他ないのです。愛僕精神だけでは乗り切れないのです。

もう一つ触れておきたいのはTPP (Trans-Pacific Partnership) です。しかしもはやTYP(とつてもヤバイパートナーシップ)なのです(笑)。これも安倍氏が一五年の米議会にて「その経済効果がさりとて、その戦略的価値に期待している」と白状しています。しかしこれは「二度と再び国家間の経済関係に戦略性を持たせない」との大戦後の国々の誓いを放棄していることとなります。これが危険信号なのです。

問い質すべきことの第三は、「君の名は?」です。

この背後に我々が立つべきは、「けつして敵の言葉で語らず」ということです。敵の言葉には偽りが多いのです。相手の世界に引きずられてはいけません。「働き方改革」なる語もまた無自覚で使つてはいけないのです。それは実は「タダ働き青天井法案」です。背後にある敵の本当の狙いを見抜くことが大事です。それがすなわち「君の名は?」と問いかけることの意味です。

古今東西を問わず、名前の重大性を取り扱った物語は多いのです。本当の名前(本性)を知られると、鬼であれ神であれ神通力を失うので、ひた隠しにしているのです。私が出版を予定している『アホノミクス用語辞典』(笑)では、本当の名、その本性を示そうと試んでいます。

第三のポイント

これからどう進むべきか?

これについて三つお話しします。

まずは、**野党はどうするのか?**という点です。野党間の連帯と共闘をどう構築するか。昨年の総選挙前に野党の多党化が進みました。あるいは野党はまとまってほしいという動きもあります。別れたからかえって仲良くできるカップルもあります(笑)。役割

分担や連帯感が見えるようになったので、それをぜひ大事にしていきたいと思います。また元の鞘に収まる必要はないでしょう。

次に、**市民はどうするのか?**という点では、「森を見て木を見ず」の精神でいくことです。

チームアホノミクスは状況により、わざと個別的な提案を出してきて、反対勢力に混乱と分断を持ち込んできます。この個別的な木々に惑わされてはならないのです。分断作戦はファシズムの常套手段です。個別の木々の魅惑に囚われてはいけません。ロクなものがないのですから。

最後に、**共有すべき言葉は?**ですが、それは「闇を切り裂く光」です。

新約聖書のヨハネによる福音書に以下の記述があります。「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」

この主な内容を文語体で表すと「光

闇に照ると雖(いえど)も、闇之(これ)を暁(さと)らざりき」(公教宣教師ラゲ訳・東京大司教出版認可)となります。「闇之を暁らざりき」が実にいい。「さとの」の「暁」は「あかつき」の「暁」。夜明けです。闇に暁は察知できず、暁には、闇の暗さが察知できる。闇には、そこにある暁が見えず、悟ることができないのです。この関係が素晴らしいと思います。

言葉は暗闇を照らす光です。敵のつくりだす言葉は闇の言葉。だからこそ敵の言葉で語ってはならないのです。

「光チーム」と「闇の軍団」の綱引き。これが現代日本の状況です。改憲勢力は光を理解できない闇のファシスト、愛僕者たち。そしてそれを絶対に阻止しようとしているのが我々、光チームです。闇の軍団の愚かしさを照らすことができるチームです。この綱引きに絶対に勝たなくてはなりません。聖書によれば間違いなく最後は、燦然と輝く光チームの勝利で終わるのです。

(非核・いしかわ編集部)
◎五月三日、金沢歌劇座で開かれた平和憲法施行七一周年記念石川県民集会『安倍改憲NO!市民アクション』での講演要旨です。

◇講演要旨◇

辺野古、高江、沖縄のいま

ヘリパット基地反対協議会 共同代表

安次富浩



講師の安次富浩さん

名護市民投票を振り返る

沖縄のいまを語るため一九九七年一二月の名護市民投票を振り返る。一九九五年の米兵による少女暴行事件の後、日米両政府によるSACO（沖縄に関する特別行動委員会）最終報告で、普天間飛行場の返還が辺野古の米軍キャンプ・シユワブにヘリポート建設という移設条件付きで合意された。一九九七年一月名護市民は「命を守る会」を結成し、辺野古へのヘリポート建設の是非を問う市民投票に立ちあがった。

この市民投票に対し、当時の久間章生防衛庁長官が沖縄駐留の自衛官五五〇〇人に賛成票獲得への協力を求める文書を送付した。また那覇防衛施

設局は職員二〇〇人を動員して基地振興策のパンフを配布するなど市民投票への異例の干渉を行った。

名護市は「環境政策や経済政策への期待」を加えて四択の市民投票を実施したが、一九九七年二月二日の投票結果は、反対〓五三%、賛成〓四五%で基地建設NO!の民意が示された。しかし直前の一二日、当時の比嘉哲矢市長が海上基地の受け入れを表明して辞任するなど混乱をきわめていた。その後も辺野古の新基地建設反対の運動は二〇〇四年〜二〇〇五年のボーリング調査阻止の実力闘争などを経て、二〇一〇年一月には稲嶺進市長が誕生した。

普天間の辺野古移設は口実

当初の計画はヘリポート建設だったが、その後二〇〇五年一月にL字型沿岸案、二〇〇六年五月には海に張り出すV字型の基地建設に変更された。その理由は、戦車二〇台、オスプレイ一〇数機、海兵隊二〇〇〇人を乗

せることができる強襲揚陸艦を接岸できること、基地内に弾薬装着場を作る計画があるためである。これは普天間の移設ではなく、明らかに新基地である。一九六〇年代に米軍はこのような新基地建設の計画を立てていたが、当時はベトナム戦争による財政難で頓挫した。今度は普天間の移設を口実に日本のお金、国税で建設しようとしている。

オール沖縄の闘い

二〇一三年一月二八日沖縄県全ての首長、議長が賛同した建白書は①オスプレイの配備を直ちに撤回すること、②米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念することの二点である。私たちはこの建白書の内容で観光産業が多い経済界とも団結している。

二〇一四年一月の名護市長選挙では稲嶺進市長が再選。同年九月の名護市議会議員選挙でも辺野古新基地建設に反対する議員が過半数を占めた。同年十一月の沖縄県知事選挙では翁長雄志氏が現職・仲井眞弘多氏に一〇万票差で圧勝した。さらに同年二月の衆議院選挙では一区〜四区の全てオール沖縄の四人が勝利した。このような運動の広がりにより、二〇一五年

五月に辺野古基金が創設され、同年二月に「辺野古新基地を作らせないオール沖縄会議」が結成された。キャンプ・シユワブ前の座り込みや各島ぐるみの闘いがいまも続いている。

埋立承認取り消しを巡る攻防

二〇一六年七月二二日、翁長知事の辺野古埋立承認取り消しをめぐる、国が沖縄県を相手に「不作為の違法確認訴訟」を起した。同年九月一六日福岡高裁那覇支部は国の請求を認め、翁長知事による埋立承認取り消しは「違法」とした。さらに僅か三カ月後の一二月二二日、最高裁第二小法廷は沖縄県の上告を棄却した。政府の主張を司法が追認しただけの判決であり、三権分立が形骸化している。

相次ぐオスプレイの墜落事故

二〇一六年二月一三日、名護東沿岸でのオスプレイの墜落事故を米軍は不時着と発表した。しかも在日米軍トップのニコルソン四軍調整官は「住民や県民に被害を与えなかったことに県民は感謝すべき」と述べている。これは植民地主義者の発想である。また同じ日に普天間飛行場に別のオスプレイが胴体着陸している。米軍は辺野古新基地に欠陥機・オスプレイ一〇

○機を駐留する計画である。
米軍は朝鮮半島での有事を想定し、
辺野古沖で米人家族をオスプレイで
逸早く輸送する訓練をおこなってい
る。朝鮮半島の情勢と沖縄での軍事演
習は密接不可分の関係にある。

伊江島の基地強化の狙いは

米軍の強襲揚陸艦の訓練基地とし
て伊江島では着陸帯補強工事が行わ
れている。また垂直離発着戦闘機F三
五Bが出す高熱のジェット噴射に耐
えるよう基地の舗装工事もやり直し
ている。このように伊江島・辺野古・
高江のトライアングルで米軍機の空
中訓練を行おうとしている。

基地建設阻止の運動への国家権力
の弾圧には実にすさまじいものがある。
沖縄平和運動センターの山城博治
議長は、伊江島の基地強化を阻むため
有刺鉄線を切断したなどの軽微な罪
にもかかわらず五カ月間も不当に拘
留され、一審判決は有罪、現在も高裁
で裁判中である。

辺野古新基地建設の問題点

辺野古新基地建設がなぜ駄目なの
か。一つは専門家から活断層の存在が
指摘されていること。沖縄でも地震の
発生はゼロではない。原発の規制基準

と同じように活断層の上に重要施設
を作つてはいけない。二つ目は、マヨ
ネーズ地盤と云われるくらい軟弱な
地盤であり、地盤沈下の激しいところ。
三つ目は、ジェット機が離発着する基
地周辺には高さ制限があり、国立高専
や辺野古弾薬庫が抵触するからであ
る。

もし新基地ができれば国立高専の
移転や弾薬庫の改修工事が必要とな
る。弾薬庫の改修工事では強襲揚陸艦
の接岸と、新基地の中に弾薬やミサイ
ルの運び込みや小型核兵器の貯蔵も
想定されている。このような点を私た
ちは県民にしっかりと訴えていかね
ばならない。

なぜ名護市長選で敗れたのか

相手候補は人望も能力もない人物
だったため、私たちの陣営に油断があ
った。自民・公明の力の入れ方はもの
すごかった。自民党はなりふりかまわ
ず閣僚を沖縄に送り込み、企業まわり
を徹底した。公明党は前回の市長選で
は自主投票だったが、今回は創価学会
が九州から動員して泊まり込みで戸
別訪問をおこなった。その結果、期日
前投票が四八%となり、私はこの数字
をみて敗れたと思った。何といても
私たちの陣営に油断があったことが

敗因である。一月の県知事選挙は何
としても勝ち抜きたい。

翁長雄志知事と共に

沖縄防衛局が仲井眞前知事から得
た辺野古岩礁破砕許可は二〇一八年
三月三十一日付で期限切れになった。翁
長知事は七月〜八月をメドに埋立工
事差し止め訴訟を起こし、一月の県
知事選挙に向かつていく意向である。
経済界が主導している新基地建設の
県民投票に私は反対であるが、今後、
県民投票が実施される場合は団結し
てたたくつもりである。そのことが
「オール沖縄」で県知事選挙をたたか
う力になる。

森友・加計疑惑、PKO日報問題、
セクハラなどで安倍内閣の支持率が
三〇%前後まで下がっている。安倍政
権をつぶすため東京・大阪はじめ全国
各地でもつとがんばり、精一杯がんば
っている沖縄と連帯しましょう。

(非核・いしかわ編集部)

◎四月二八日、近江町交流プラザで開
かれた沖縄連帯講演会「辺野古、高江、
沖縄のいま」の講演要旨です。主催は
石川県平和委員会・安保廃棄石川県実
行委員会。

非核の政府を求める石川の会

第30回総会のご案内

日時 5月26日(土)13:00~14:00
会場 金沢歌劇座3階第3会議室
次第 2017年度活動報告及び決算報告
2018年度活動方針案及び予算案
役員改選
主催 非核の政府を求める石川の会

路上の政治学者

木下ちがやさん講演会

演題 市民の力が政治を動かす
講師 明治学院大学国際平和研究所研究員
木下ちがやさん
日時 5月26日(土)14:00~16:00
会場 金沢歌劇座2階大集会室
参加費 500円
主催 いしかわ市民連合



非核・平和の心

核兵器禁止条約の批准は 九カ国に

核兵器禁止条約は、五〇カ国の批准書がニューヨークの国連本部に受託されてから九〇日後に発効します。当面の焦点は同条約の批准です。ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)のウェブサイトに国連加盟国の署名・批准の進捗状況が掲載されており、これまでに五八カ国が署名し、九カ国が批准しています。

【批准国】ガイアナ、バチカン、タイ、キューバ、メキシコ、パレスチナ、ベネズエラ、パラオ、オーストリア

戦争の時代から平和の時代へ

川本浩平

朝鮮半島で大きな前進がありました。南北首脳会談があり板門店宣言に署名、世界に発信されました。米朝首脳会談は六月一二日に決まりました。基本的には、朝鮮半島の平和共存、南北統一は韓国国民が望んでいるこ

とです。しかし進歩政権と保守政権のあいだには、実現の方法に違いがあります。金大中、盧武鉉の進歩政権の時は「太陽政策」をとりました。

李明博、朴槿恵の保守政権は「太陽政策」は間違いで北朝鮮は信用できないと政策転換しました。一部には「必要な攻撃をしても北朝鮮体制を崩壊させなければならない」と考える人すらいます。

文在寅大統領の考えは、「保守政権の南北対話遮断は誤りだった。対話を再開し、平和を実現しなければならぬ」という考えです。

昨年五月一〇日、大統領就任式で文在寅大統領は「条件を整えば北朝鮮を訪問する準備がある」ことを表明し、同月一八日「尊敬する国民のみなさん」と呼びかけた光州事件の犠牲者追悼演説の中で、金大中政権と盧武鉉政権の命脈を引き継いでいると語っています。

文在寅大統領の平和定着をめざす強い信念と努力があつて、敵対していた米朝首脳会談へ道を開いています。朝鮮半島の問題は南北だけでなく、周辺国もかわる問題でもあります。特に日本は朝鮮半島で侵した過去の償いの責任があり、真摯に向かい合い、自らの対話による外交戦略で取り組

むべきで、それ以外の方法はありません。その基本は「平壤宣言」であり「六か国協議共同声明」にあると考えています。

(日朝協会石川県支部事務局長)

治安維持法国賠要求同盟・ 国民救援会・日朝協会

三団体山菜交流会を開催

県内で活動する三団体は、五月六日新緑が美しい白山麓・吉野オートキャンプ場で、恒例の会員交流会を開催しました。

うたごえの歌唱指導の後、数曲を歌い開会。天候は快晴、県内各地から元気な老々男女三八人が集いました。

ウドの酔味噌和え、ニシンとウドの煮込み、筒料理に筒ごはん、新鮮タマネギに卵入りの味噌汁など手づくりの料理が美味しく、フリードリンクが喉を潤した。会の流れも自然流、三々五々車座になり語りあい、世間話に花を咲かせました。

自然の中でいただいた香り高いコーヒーと季節の柏餅が彩りを添えてくれました。

最後にビンゴゲームを楽しみ、手づくりの集いは満面の笑みを土産に散会となった。(川本浩平)

非核石川の会リレーエッセー

教員の長時間労働は政府の「働き方改革」で解消するの？

庭田智恵子

二〇一七年の文科省調査によると、週六〇時間(通常は八時間勤務で週四〇時間)以上の勤務が小学校で三三・五%、中学校で五七・六%です。月あたりになると八〇時間以上の時間外勤務(残業)で過労死ラインを超えています。

県内でもパソコン入力になった四(六月の結果でも月八〇時間以上の時間外勤務が中学校で五四・一%です。他の職種と比較しても六〇時間以上が小学校で五七・六%、中学校で七四・一%と突出しています。

どうしてこうなったのでしょうか。一つは、業務(やたら多いアンケート等)が増えるが、教員数が増えない。二つは、すべて学力テスト中心で学校が動いている、といえます。

石川は昨年全国学力テスト(小学六年と中学三年が対象)で一位、北陸三県も常に一〜三位に入っています。この上位に入るため(小学校では)子どもたちは毎日、計算ドリル、漢字ドリ

ル、音読、自学ノート等の宿題が課されていきますし、学校では学力テストの過去問練習をどつきやりとされています。文科省はこのテスト結果の順位を県別に公表し、そのうちいくつかのまにか市町別に、学校毎に順位が知らされ、成績の悪い学校には教育委員会がその学校に入り成績アップに力をいれている市もあります。

県知事は全国学力テスト一位を自慢していますが、主役の子どもはどんな勉強がしたいのでしょうか。「あつ、そうか」「どうしてそう考えるの」「自分はどう考えるけど・・」「やってみたい」「調べてみたい」と一人一人が、時にはグループで、クラス全体で考え、話し合いやってみて分かっていくことが、求められる学力だと思えます。

「働き方改革」を受けて以下の検討している。A市は、毎月、学校定時退校日を月一回以上設け午後五時までに教職員は退校する。学校への来校や電話連絡も本年度から小学校は午後六時半まで、中学校は同七時半までとする。中学校の部活は原則水曜と日曜は休養日とする。B市は二一学級以上の学校に配置された事務補助はこれまでの教員の日番と印刷業務を受け持つ。

○代・四〇代の教員がとて少ない現状から、この年齢層の教員を臨時から正規に採用し、思い切った教員増（三五人、三〇人学級の早期実現）を、県独自の学力テスト（小四）の中止を、部活の週二回の休養日（平日と土日のいずれか）の厳守を、が働き方改革の根本的解決になるのではないだろうか。

詩人会議かなざわ「独標」より

ゆめと きぼうの あかるい
みらい

大川陽一

青い空と日本海

緑の森に鳥たちの声

入江の浜に海水浴客が戯れる

ここは 若狭のくに

夢と希望の

明るい未来をつくるため

白いドームの中で

生きるために いのちを削る

男たちの仕事は

魔物を放ち 怒らせ

封じ込めること

息苦しい汗だけの全面マスク

防護服の特攻隊

ボルト一本締めるだけで

アラームが鳴り 線量オーバー

魔物たちは肉体に襲いかかる

人の皮を被った一握りの鬼畜は

地元の農民漁民

社会から棄てられた人々を

全国から この地獄に集め

果てしない欲望の湯に浸る

次男から下は家を追われ

火葬場さえ無い過疎の村の

ドームの森から山々を越え

幾つもの送電線が伸び

都市の繁栄を彩ってきた

そして半世紀

故郷と未来を根こそぎ奪われた

フクシマの後でさえ

何もなかったかのように

鬼畜たちの所業はつづく

今 この瞬間にも

日本中の白いドームの中で

魔物が蠢く薄暗い狭い空間で

汗とほこりにまみれて

恐怖に震える男たちがいる

いつかは訪れるであろう

終末のとき

空から一本の糸が降りてきたなら

鬼たちは 我先にと

よじ昇りはじめるだろうか

《編集室より》

◎非核・いしかわ編集部では、非核・平和を願う人々の「学習・交流のひろば」、平和運動の「交差点」となるように紙面編集しています。今月号には「安倍改憲阻止のために」「辺野古、高江、沖縄のいま」二つの講演要録を詳しく掲載しました。

○学習会は講義などを受けたあと、それを「深める」「共有する」ということは、学習会を成功させることと同じぐらいのエネルギーを使って行う必要があります。

○学習会のように文字媒体で残れば、参加できなかった人でもその内容を知ることができ、それを機関紙やインターネットで発信すればみんなでも共有することが可能になります。

○書くことは運動の定着化、経験の深めあい、共有化への必須条件です。

会報『非核・いしかわ』は、この編集スタイルを堅持していきますので、サポート会員の拡大にご協力をお願いします。(か)

シリーズ 石川の地域点描 ②①

フォトグラフィアー 中西 優

県内各地で田植えが終わり、緑があふれる季節になりました。田んぼに水が入るゴールデンウィークの前後に、棚田を撮影しようと各地を回ってきました。

今回の白米千枚田と大笹波水田もそうですが、農業には一見厳しそうな海と山の間の斜面を生かして生活する先人たちの知恵と努力を感じます。この棚田という美しい景観と人々の生活が今後も残っていくことを写真を撮りながら毎年願っています。



白米千枚田と夕日＝輪島市



棚田百選の大笹波水田と夕日＝志賀町



絵手紙コーナー

金沢医療生協絵手紙班

坂本朋子

非核平和の掲示板

Table with columns: 月 (Month), 日 (Day), 曜 (Day of Week), 時 (Time), 内容 (Content), 場所 (Location). It lists various events related to nuclear-free peace, including lectures, film screenings, and actions.

* 祝日は休日とします * 毎週金曜日18:30といね原発アピール行動 金沢駅兼六園口 * 毎月15日石川県沖縄連帯デー

* 本紙「非核・いしかわ」の定期購読者(サポート会員)を募集中です。年間購読料は1500円